



鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

<http://www.synapse.ne.jp/~aunion/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。ブックマークに登録を！

ニュース

No. 19

2010年6月25日

第2回かごしま「学童保育」シンポジウム & 第4回県連総会

すべての子どもたちにいきいきとした放課後を！ 第4回鹿児島県児童クラブ連絡会の総会は、6月13日(日)始良市「加治木町福祉センター」にて開催。その後のシンポジウムには、県内42クラブから120名を超える指導員、保護者、運営者、行政の方々の参加をいただきました。

昨年に引き続き、元気の出るシンポジウムとなりました。ご参加いただき、ありがとうございました。総会とシンポの特集号です。



■基調講演 真田 祐さん(全国学童保育連絡会)

ますます期待される学童保育の課題と展望

～保護者・指導員・行政の協力で、安全・安心な学童保育を～

●学童保育は、指導員と保護者が一緒になって、子育てをする施設。1年生の110万人のうち、学童には29万人が通っている。4割が一人親家庭でもある。この5年間で30万人利用者が増えてきた。

◆「安心して生活できる」「一人ひとりを大事にする」ことが、子どもの成長・発達の前動力となる。

「昼間のきょうだい」ともいえる濃密な子ども同士の関係は「安心して生活出来る学童保育に」という努力の中で作られる。指導員の仕事の基本はここにこそある。

▼学童保育では、「モンスターペアレンツ」と呼ばない(親に責任を転嫁し、信頼関係を壊すもの)。どの親も子育てで悩みを抱えている。

●学童保育制度のあり方の抜本的な見直しが始まっている。

国の社会保障審議会少子化対策特別部会で検討に。市町村の責任の明確化、質的拡充の担保、施設と指導員の確保、指導員の待遇の改善、財源確保の強化など。

●これまで保護者と指導員が一緒に子育てをしながら、条件整備を求めてきた。学童保育の歴史は、保護者と指導員の力で作り上げてきた歴史である。

●国の「放課後児童クラブガイドライン」では、保護者会の大切さを明記している。(他の子育て事業には、保護者との連携はあるが)学童保育は、親と指導員が保護者会を基礎に子どものために話し合うことから始まる。

学童と子育て支援の最新情報を語る
真田さんと熱心に聞き入る参加者



◆シンポジウム

かごしまの『学童保育』を考える

□加治木町竜門児童クラブ・指導員/馬場ひとみさん
校区公民館を利用している。役に立ちたちとの思いから10年経った。安心して過ごせる場所、楽しく遊べる居場所であって欲しい。

◇霧島市上小川児童クラブ・運営委員長/池田まゆみさん
公民館が運営している。4年前に開所。指導員が笑顔で、子どもたちを迎えるできる環境を作ることに心がけている。

▽霧島市児童福祉課長/隈元 悟さん
霧島市では、H22年度30クラブー公設公営1、公設民営26、民設民営3か所で、小学生の12%が学童を利用している。市単独の補助金が2000万円、国県補助金は9000万円。10人未満の学童にも市単独で補助している。

○かごしま子ども研究センター/川野恭司さん
30年前、鹿児島市で学童保育づくりに関わる。子どもには、まともに育つ権利がある。子どもを丸ごと捉えること、子どもとのトラブルやいじめ、親とのトラブルなど子どもの生活全体から捉え直すことが必要。

いじめは人権犯罪だという認識する。いじめ、いじめられることにはつながりがある。学童でのいじめについても考える視点を持ってほしい。

△霧島市青葉児童クラブ・保護者/渡辺香代さん
現在53名の学童。運営費や指導員の給与は保護者会が会計を担って運営している。親の都合のいい学童であってはならないと思っている。霧島市介護保険ボランティア制度を活用し、地域との連携をしてきている。

地域連協を基盤に学童と県連の運動前進へ!!

第4回県連総会には、加盟25クラブ47名の参加がありました。09年度の活動報告と10年度事業では、県内の地域連絡協議会を基盤に、地域ごとの自主的な研修会、活動を進めることを決定しました。

会費を学童数から施設単位に見直しをしました。加盟クラブの新年度会費納入もよろしくお願ひします。

【編集後記】政権が代わり、子育て支援と学童保育が政策の中で日常的に議論されるようになってきています。まだ不足している学童、施設の充実や指導員の身分保障など課題が山積しています。

真田さんの基調講演とシンポジウムのDVDを作製しました。ご購入の方は、県連事務局にお申し込み下さい。500円(送料別)にて、頒価いたします。(T)

シンポジウムに参加いただいた63名の方から、アンケートに回答をいただきました。

指導員、保護者、運営委員、行政の方など様々な立場から、
元気をいただく感想文をたくさんありがとうございました。

■真田さんの基調講演に対する感想

- ・良い勉強になりました。我が子、そしてクラブの子、昼間の友だち（兄弟、姉妹、親）なるほどと思いました。（霧島市・指導員）
- ・これからますます学童が必要な子どもたちが増えてくる中で、なぜ、もっと行政からの財政的援助が少ないのか、子育て支援政策として考えて欲しいです。（霧島市・指導員）
- ・これからますます学童が必要な子どもたちが増えてくる中で、なぜ、もっと行政からの財政的援助が少ないのか、子育て支援政策として考えて欲しいです。（霧島市・保護者）
- ・学童の指導員として、子どもたちにとってどのような環境を作って行かなくてはならないのかということ学ぶことができました。（大崎町・指導員）
- ・保護者と指導員と一緒に、子育てをする施設ととらえるほうが、大事との話に納得しました。私もそのように日々心がけています。（鹿屋市・指導員）
- ・児童クラブの在り方が良く理解できました。（始良市・指導員）
- ・なかなか日常生活の中で、学童保育について話をかわす立場の人が少ないだけに、よい話が聞けて良かったです（曾於市・指導員）
- ・良かったです。まだ深く聞いてみたいと思いました。（霧島市・行政）
- ・学童保育の基本的な考え方、現状等を学ぶことができた。（出水市・行政）
- ・指導員として10年目を迎えましたが、基本に立ち返り、いい勉強になりました。また、与えてもらった天職と思って、残りの人生を過ごしたいと思いました。（霧島市・指導員）
- ・真田さん自身、どこでこのような考えを生み出すのか不思議に思う。子育てまっただ中の自分が気づかないことばかりであった。（霧島市・保護者）
- ・保護者ももっと参加できるようにしたら良いと思います。（霧島市・保護者）
- ・国の動きなど全く知らなかったことが、わかって良かった。（薩摩川内市・指導員）
- ・大変参考になった。ただ、指導員の価値は上がったのだろうけど、身分はいつまでも非常勤扱いで変わらない。この辺が変わらない限り、いつまでも指導員の不安定さは続く。（さつま町・運営委員）
- ・とても分かりやすく、「うんうん」とうなずく場面が多かったです。時間が短く感じられました。子どもが喜んで帰ってこられる「学童」にしたいと思います。（霧島市・指導員）
- ・子育てをしながらの仕事を支えている学童保育の課題を改めて考えさせられた。親の願い、子どもの気持ちは私たち学童でも、いま問題になっているところです。（始良市・指導員）
- ・日頃、勉強不足でマンネリ化している自分を反省する良い機会になりました。（始良市・指導員）
- ・指導員としての心構え、大切なことを学びました。明日からの保育に生かしていきたいです。（始良市・指導員）
- ・学童保育の在り方を改めて考えさせられました。家庭に代わる大切な場所として、保護者、行政と連携を取りながら、子どもたちの安全、安心を守って行きたいと思いました。（始良市・指導員）
- ・大変経験豊富な経験、知識、立場を持った方のお話で、参考になるところがたくさんありました。今後の指導、運営に役立てていきたいです。（薩摩川内市・指導員）
- ・最近の動向とこれまでの流れが分かって良かった。（薩摩川内市・行政）
- ・昨年にも参加させていただき、真田さんのお話を聞いて学童保育の課題等初めて知りました。今回も、学童保育について考えることが多々あり参考になりました。（始良市・指導員）

- ・鹿児島島の片隅で学童に勤務していて、もっと広い視点で学童保育を見たいと思っていたので、大変勉強になりましたシンポジウムの模様をソフト化や書籍化してもらえないでしょうか。（薩摩川内市・指導員）
- ・行政として、今後ますます児童クラブの重要性が高まっていくことを再認識しました。小規模校に児童クラブがないこと、待機児童数が多いということを重要な課題として解決していきたい。保護者の要望も多く（延長保育、朝の受入時間の延長など）霧島市が行っている介護保険ボランティア制度の取り入れなど、とても参考になりました。（出水市・行政）
- ・児童クラブの指導員として、自分自身を省みる時間になり、反省することでした。（薩摩川内市・指導員）
- ・久しぶりに学童保育の研修会に出席しました。毎日、児童クラブと家との往復（週3〜4回）で子どもたちの様子を見ながら、日々成長を楽しみにしていますが、他の学童保育の様子等が知りたくなることが時々あります。この基調講演をお聞きして、とても私たち指導員の方たちのことを良く理解して下さり、有り難く思いました。人に話をすると子どもを見ているだけで楽しく思われているみたいですが、内容等を話したりすると「大変なんだね」と返ってきます。（日置市・指導員）
- ・児童館がどれほど求められているかを知ることができた。子どもがどのような思いを持って、学童に来ているのかなど考え、一人一人の子どもと接していきたいと思った。（肝属町・指導員）
- ・昨年度同様、大変参考になるお話を聞かせていただき、ありがとうございました。明日からの指導に元気とヒントをいただいで帰ることができます。（垂水市・指導員）
- ・子ども、保護者の方たち、学童が必ずしも同じ考え、方針ではありません。保護者の方との意見の違いは、多々あります。ただ今日真田さんが言われたとおり、「保護者と指導員と一緒に子育てをする」というところで、保護者の方に理解と協力してもらおう、私たち指導員が努力し、子育てというものを共に行っていかなければならないと、改めて思いました。（さつま町・指導員）

■シンポジウムに対する感想

- ・子育て団体の川野先生のお話をもっと聞きたかったです。（問題ある子どもについて：いじめ問題など、また機会がありましたら講演を聴かせてください）
子どもたちの中には、「無視」「無神経」「無言」…という子どもも見られます。決して頭が悪いわけではなく、むしろ何か指導員、周囲に欲求しているのかなあ…とも感じます。相手(子ども)の心に入ろうと思うのだが…なかなかです。どういう言葉を発したら耳を傾けてくれるのか？ 年々こういう子どもたちが多くなっていくように感じられます。反発する言葉には何か意味があるのかなあ…とも感じます。（霧島市・指導員）
- ・色々な立場の方たちが、それぞれの想いがあることがわかりました。保護者の立場から安心して子どもが通えるように指導員の方たちの金銭面等々充実してあげたいので、行政お願いします。（霧島市・保護者）
- ・いろいろな方のご意見やお話が聞けて、良かったです。自分たちも元気に笑顔で「おかえり」が言えるよう、楽しい学童を目指して頑張ります。（鹿屋市・指導員）
- ・行政として、児童クラブを今後どうしたらいいのか、どうすべきなのか、日々考えていかなければならない、改善していかなければならないと感じました。（出水市・行政）
- ・パネラーのみなさん、それぞれの方が素晴らしい実践者で、本当にお話が聞けて良かったと思います。他の指導員にも伝えていきます。（垂水市・指導員）